

基本目標 1	浅口市における安定した雇用を創出する
--------	--------------------

数値目標	市内民営事業所従業者数 【現状値（H30年度）】— 【目標値（R1年度）】9,518人 【目標値（R6年度）】9,518人
------	---

施策の基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> ・倉敷市や福山市に近接している地理的好条件を最大限活かしつつ、産官学金連携のもと、商工業のイノベーション促進や創業・起業の支援を行い、地域の活性化と同時に、新たな雇用の創出を図ります。 ・農業・漁業分野においても、製品のブランド化、6次産業化と担い手の育成を推進し、「儲かる農業」「儲かる漁業」の実現・拡大を図ります。 ・工業団地の整備を進め、新規企業の誘致により基盤産業の拡大と雇用創出を図ります。 ・産業全体の拡大・活性化を通じて、女性や高齢者がいきいきと活躍できる雇用環境の充実を図ります。
----------	---

施策の枠組み	具体的な施策	主な取組	取組の概要	KPI(重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	担当課
(1) 就業の場の拡大	①産業の担い手育成	新規学卒者雇用奨励助成	市内の事業所が新規学卒者を雇用したときに、一人につき10万円を助成する。	助成対象者数 (年間)	1人	2人	市民課
		創業支援体制の整備事業	浅口商工会と連携し、里庄町と合同で創業支援計画を策定する。創業支援等事業計画に基づき、創業者のためのワンストップ窓口を設置し、相談者に対し情報提供や支援機関の紹介などを行う。	計画策定 創業者数 (年間)	15人	39人	産業振興課
	②産業間の連携	企業の農業参入促進	農業の新たな担い手の確保、耕作放棄地の増大防止を図るため、企業の農業参入を支援する。	農業参入企業数 (累計)	1社	1社	産業振興課
		6次産業化・農商工連携の推進	農林水産物の生産振興と加工による新たな特産品づくりによって地域産業の発展を図るため、6次産業化、農林水産業者と商工業者の連携を推進する。	浅口市産農林水産物を原材料とした「あさくちブランド」商品数(累計)	12個	15個	産業振興課
	③企業誘致の推進	工業団地の整備	浅口市における新たな中核企業群を形成するため、企業誘致の基盤となる浅口工業団地の整備を進める。	工業団地整備面積 (累計)	4.4ha	13.4ha	工業団地推進室
		浅口市企業立地優遇制度の活用	市内に新規に立地する企業に対して、規模に応じた奨励金の交付や税制優遇措置により、誘致を支援する。	優遇制度活用件数 (累計)	2件	6件	工業団地推進室
	④情報発信の仕組み等の構築	求人情報・就労支援情報の提供	求人情報紙(ハローワーク笠岡発行)及び就労支援に関する関係機関のパンフレット等を公共施設等に設置するほか、市HPIにも掲載・リンク設定し、広く周知する。	市の求人情報ホームページへのアクセス数 (月平均) 情報更新回数 (年間)	383件 52回	52回	市民課
	(2) 産業の振興と生産性の向上	①事業拡大等への経済的支援	中小企業設備資金利子補助事業	市内企業の事業拡大等を後押しするため、設備資金の借入に対する利子補給を行う。	設備資金利子補給件数 (年間)	12件	20件
②産業の育成・強化		産業財産権取得・販路拡大開拓等の支援	市内企業の事業拡大や多角化等を推進するため、特許権等産業財産権の取得、市外で行われる見本市等への出展等販路拡大及び人材育成に要する経費に対し補助を行う。中小企業の事業拡大や多角化等を推進するため、販路開拓のための見本市等への出展や、特許権等産業財産権の取得、職員研修等による人材育成、及びホームページの作成・更新に要する経費に対し補助を行う。	成長支援事業補助件数 (年間)	13件	20件	産業振興課
		地域特産物のブランド化	商工会が行う「あさくちブランド」認定事業を支援し、特産品のブランド化を推進する。	「あさくちブランド」認定数 (累計)	32個	37個	産業振興課

基本目標 2 浅口市への新しいひとの流れをつくる

数値目標	移動数（転入—転出） 【現状値（H30年度）】10人 【目標値（R1年度）】0人 【目標値（R6年度）】0人
------	--

施策の基本的方向

- ・市民が「住みよさ」を実感できるまちづくりを進めるとともに、まちへの誇りを持てる学習活動を推進し、雇用の確保と併せて市民の転出を抑制し、浅口市出身者の還流を図ります。
- ・住環境・子育て環境の整備による移住・定住促進策を展開し、浅口市が持つ数々の強みと合わせた総合力で転入を促進し、近隣都市に就業している若い世代に選ばれるまちをめざします。
- ・観光資源の発掘・ブラッシュアップや民間事業者との連携・融合、近隣との周遊性の向上を図るとともに、大都市圏への戦略的PRを実施し、更なる交流人口の増加を図ります。

施策の枠組み	具体的な施策	主な取組	取組の概要	KPI(重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	担当課
(1) 移住・定住の促進	① I・J・Uターンに向けた情報提供の拡充 削除 追加	移住・定住ポータルサイトの整備	本市の魅力や人々の暮らしを伝え、移住・定住者の獲得に結びつけるため、訴求力の高い移住定住ポータルサイトを整備する。	移住・定住ポータルサイトのアクセス数 (月平均)	280件	350件	地域創造課
		空き家情報バンクによる住宅情報の提供	市内空き家情報を収集、所有者と取扱い業者のマッチングを行い、空き家情報バンクへ登録・公開し、物件情報を提供する。	空き家情報バンク登録物件数 (累計)	63件	150件	まちづくり課
		井笠地域大学等就職面接会	井笠地域の事業所が大学生等を対象にした就職面接会を合同で開催する。	就職面接会参加学生数 (年間)	18人		市民課
		井笠地域等就職相談（面接）会	市内、井笠地域及び高梁川流域の事業所が、高校生や大学生等を対象に就職相談（面接）会を開催する。	就職相談（面接）会開催回数 (年間)	4回	4回	市民課
	② 住まいの確保	市営住宅の老朽化対策	老朽化進捗の調査を実施し、調査票（台帳）を作成するとともに長寿命化計画を策定する。	調査・台帳作成及び計画策定棟数 (累計)	12棟	27棟	建設業務課
		あさくち住マイルロード促進事業奨励金	市内定住促進を図るため、民間宅地開発で、既設道路を拡幅し道路機能を向上させる道路整備事業に要する経費等に対し、奨励金を交付する。市内定住促進を図るため、民間宅地開発で、既設道路の拡幅等を行い道路機能を向上させる道路整備事業に要する経費等に対し、奨励金を交付する。	あさくち住マイルロード促進事業奨励金の活用で造成された宅地区画数 (累計)	46区画	50区画	まちづくり課
	③ 移動手段の確保	浅口ふれあい号の運行	市営バス「浅口ふれあい号」の利用を促進し、継続的な運行を実施することにより、市民の移動手段を確保する。	浅口ふれあい号の利用者数	30,239人	35,000人	地域創造課
	④ 「ふるさと」に対する誇りを高める教育の推進 追加	アストロ教室 天文教育の充実	「天体関連資源を活かしたカリキュラム」をもとに、教材の作成や外部講師による授業を行う。「天文関連資源を活かしたカリキュラム」をもとに、教材の作成や外部講師と連携した授業や活動を行う。	外部講師による授業の回数及び外部講師と連携した授業及び活動の回数 (年間)	2回	3回	学校教育課
		学校給食での特産品等の使用	特産品等を使用した学校給食を提供し、地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解する教育を推進する。	学校給食での特産品等に関する指導回数 (年間)	2回	2回	学校給食センター
		コミュニティ・スクールの充実	ふるさとの未来を創る子どもたちを育てるために、学校・家庭・地域が一体となって教育に取り組む体制を強化する。	学校運営協議会の回数 (年間)	5回	5回	学校教育課
⑤ 東京一極集中是正に向けた取り組み 追加	子ども農山漁村交流事業の実施	東京23区と連携し、都市と農山漁村の交流を通じて子どもの成長を支える事業を展開し、浅口市の活性化や地域間相互理解の深化につなげる。	連携事業数 (累計)	0件	5件	秘書政策課	
	特別区全国連携プロジェクトでの情報発信	特別区区長会が主催する「特別区全国連携プロジェクト」に加盟し、専用ホームページや東京23区への情報発信を実施し、移住・定住の促進につなげる。	情報発信回数 (年間)	0件	10件	産業振興課	
(2) 観光の振興と交流の拡大	① 観光・集客資源の創出・整備 追加	来館者を受け入れるための施設整備 (岡山天文博物館機能強化)	展示の見直しおよびレイアウト等の改修を行う。また海外からの来館者に備えて展示解説等の多言語化を実施する。既存の展示にQRコード等を設置し、Webコンテンツで解説等を見られるシステムを導入する。太陽望遠鏡の画像をモニターでも見られるようカメラを取り付ける。タッチパネル式のモニターを設置し、天文や宇宙の解説やクイズを楽しめるようにする。	天文博物館入館者数 (年間)	24,000人	25,000人	文化振興課
		観光資源の発掘と広域連携の強化	観光資源となり得る施設、景観、イベント等を掘り起こすとともに、井笠地域、高梁川流域の市町等と連携した観光誘客を図る。	広域連携観光事業数 (年間)	7事業	9事業	産業振興課
		天文関連施設の観光利用促進	岡山天文博物館及び国立天文台、京都大学岡山天文台を活用した観光振興事業及び催事を実施する。市主催事業だけでなく、民間事業者や市民団体による旅行及び天体観測を目的とした利用を受け入れ、「天文のまちあさくち」のPRを図る。	天文関連施設利用回数 (年間)	—	10回	産業振興課
	② 観光商品の創造・販売	あさくち土産品・旅行商品開発支援	新天文台の建設を契機として、岡山天文博物館マスコットキャラクターをパッケージ、外装に表記した土産品等の「天文のまちあさくち」浅口市をイメージさせる新たな土産品の開発、商品化や浅口市の観光資源を活用した旅行商品の造成を支援する。	あさくち土産品開発品数 (累計)	4個	10個	産業振興課
	③ 観光情報提供の仕組み等の構築 交流人口拡大に向けた情報発信 追加 追加 追加	マルチメディアによる観光情報発信	HP、SNSに配信し広く情報発信するとともに、催事・観光展において動画を活用した誘客を図る。	催事等におけるマルチメディアを活用した観光PR回数 (年間)	22回	30回	産業振興課
		ふるさと寄附金制度の推進	ふるさと寄附金制度の推進により、地域特産品・観光情報のPR、市の知名度向上等により地域活性化を図る。	ふるさと寄附金件数 (年間)	2,016件	7,000件	地域創造課
		旅行関連業者への観光情報発信	旅行見本市や観光商談会で、旅行事業者等に観光情報を発信し、浅口市を周遊する観光旅行商品の造成を促進し誘客を図る。単市での情報発信だけでなく周辺市町と連携し、広域的な周遊コースの提案を組織的な情報発信を目指す。	商談数 (年間)	40社	50社	産業振興課
		みんなで浅口市観光PR事業	観光客に対して、常に観光情報を発信できる仕組みづくりを目指す。浅口市観光パンフレットを市内団体及び民間事業所へ配布し、市内複数個所での観光PRを官民が連携しての実施を目指す。	観光パンフレット配布部数 (年間)	—	4,000部	産業振興課
		首都圏での観光・特産品PR事業	東京23区が主催するイベント等に参加し、都市部における浅口市の観光資源や特産品を紹介し、交流人口増につなげる。	出展イベント数 (累計)	0件	10件	産業振興課
	④ 市民のおもてなし体制の整備	浅口よいとこ応援隊の活動支援	浅口市観光協会が取り組む「浅口よいとこ応援隊」の活動を支援し、市の魅力発信や観光客へのガイドなど市民によるおもてなしの充実を図る。	浅口よいとこ応援隊員数 (累計)	12人	14人	産業振興課

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	合計特殊出生率 【現状値（H30年度）】— 【目標値（R1年度）】1.6人 【目標値（R6年度）】1.8人
------	---

施策の基本的方向	<ul style="list-style-type: none"> ・若者への安定した雇用の確保に加え、出会いの場・機会の創出等の婚活支援策を推進し、未婚化・晩婚化の解消を図ります。 ・ハード・ソフトの両面において出産・子育てしやすい環境を整備し、結婚からの切れ目ない支援で出産・子育て世代の希望を実現させます。
----------	---

施策の枠組み	具体的な施策	主な取組	取組の概要	KPI(重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	担当課	
(1) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援	①出会いから結婚までの支援の充実	縁結びサポーターによる婚活支援	縁結びサポーターが地域の独身男女への縁結び役として、出会いの機会の仲介、独身男女の結婚に関する助言、研修会・情報交換会等への参加を通じ、結婚希望者を支援する。	縁結びサポーターによる成婚数(累計)	1組	5組	秘書政策課	
	②経済的支援の推進	子ども医療費の給付	市内に住所を有する中学3年生までの子どもを対象に、保険診療に係る被保険者の窓口負担額を給付する。	子ども医療費給付対象年齢	中3まで	中3まで	社会福祉課	
		不妊・不育治療費の助成	不妊・不育に悩む方に対し、保険によらない治療を行った場合、県の助成に上乗せ助成を行う。	不妊・不育治療費助成制度の有無	有	継続	健康推進課	
	③妊娠・出産環境の整備と支援の充実	マタニティクラス事業	妊婦さんがお産についての知識を学んだり、友達づくりをする場で、産前後の育児不安の解消を図る。	マタニティクラス参加割合(年間)	0.16	0.2	健康推進課	
		あかちゃん訪問事業	愛育委員が、産婦、乳児訪問をし、声掛け見守りを行う。また、保健師が出産後のあかちゃんとその保護者に訪問指導を行う。	あかちゃん訪問の割合(年間)	0.873	希望者の100%	健康推進課	
	④子育て環境の整備と支援の充実	削除	子育て支援施設の整備	子育て支援の拠点施設として、親子で気軽に利用できる施設を整備する。	施設数(累計)	0施設		こども未来課
		追加	放課後児童クラブの充実	施設整備を行う等地域の実情に応じた運営に対する支援を行う。	放課後児童クラブの待機児童数(年間最大数)	0人	0人	こども未来課
地域子育て支援拠点事業			乳幼児及びその保護者が相互に交流を行う拠点を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助を行う。	地域子育て支援拠点事業実施箇所数	2箇所	2箇所	こども未来課	
⑤ワーク・ライフ・バランスの向上	ワーク・ライフ・バランスの啓発	市HPへの啓発記事の掲載、関係機関HPへのリンク設定等を行う。	「おかもや子育て応援宣言」に登録している企業・事業所数(累計)	8社	10社	市民課		
(2) 子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた学力向上	①落ち着いた学習環境の整備	学校施設における学習環境の整備	快適な環境で授業が受けられるよう小・中学校の教室へエアコンの設置を行う。	エアコン設置台数(累計)	211台		教育総務課	
	②地域の教育力の向上と活用	学校支援地域本部事業 地域学校協働活動事業	各小中学校において、ボランティアの協力により地域ぐるみで子どもを育てる体制を構築する。	地域学校協働活動事業実施小・中学校区数	10校区	10校区	生涯学習課	
		夏GAKUサプリin公民館	夏休み期間中の各公民館において学校・地域が連携し、小学生を対象に学力向上を目的とした講座を企画・運営する。	夏GAKUサプリ実施公民館数	3館	3館	生涯学習課	

基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標 協議会型住民自治組織数：【現状値（H30年度）】—【目標値（R1年度）】5地区 自主防災組織率：【現状値（H30年度）】68.5% 【目標値（R6年度）】72%

施策の基本的方向

- ・長期的な見通し・計画のもと、安心・安全な生活を営むための生活基盤の整備や維持を進めます。
- ・防災・防犯等の地域自主組織の拡充や消防団の活性化を通じて、自助・共助・公助の再認識や地域のリーダーの育成を図り、地域コミュニティの変革・創生を促進します。
- ・地域・世代間交流を促進し、市民の一体感を醸成するとともに、市民自らが地域への理解を深め、市民自らの行動による地域の自立・共生を支援します。
- ・高梁川流域圏等の構成市町との連携を深め、まちづくりにかかる課題解決に共同で取り組みます。

施策の枠組み	具体的な施策	主な取組	取組の概要	KPI(重要業績評価指標)	現状値 (H30年度)	目標値 (R6年度)	担当課
(1) 持続的・自立的な地域の形成	①安心・安全な地域機能の確立	自主防災組織の設立促進	設立促進のための説明会開催、自主防災組織の活動事例紹介、また、代表者を対象としたリーダー育成会の実施により組織の更なる活性化と自主防災組織設立数増加を図る。	自主防災組織設置数(累計)	62組織	75組織	くらし安全課
		消防団員の確保・能力強化	消防団活動をスムーズに行えるよう、消防団活動への市民の理解を深めるとともに、待遇改善等により現員数の確保を図る。また、水防訓練・操法訓練等により消防団員の能力強化に取り組む。	消防団員数	919人	940人	くらし安全課
		削除 消防本部機庫太陽光発電設備設置	災害等により停電になった緊急時においても、消防活動・本部機能を維持するため本設備を備える。 (再生可能エネルギー等導入推進基金事業)	設備設置	設置済み		くらし安全課
	②地域を担う人材の育成とコミュニティ創生	地域おこし協力隊の活用	地域おこし協力隊を活用し、コミュニティ活動の支援や地域資源の発掘・振興、情報発信などを行い、地縁組織を中心とした地域の活性化を図る。	地域おこし協力隊員数	4人	8人	地域創造課
		市民提案型協働事業	現在の補助上限額を拡充し、より魅力ある地域づくりや効果的な地域課題の解決を図る。	市民提案型協働事業数(累計)	31事業	55事業	地域創造課
	③公共施設等の維持管理と長寿命化の推進	公共施設等総合管理計画の策定 公共施設個別施設計画の策定	公共施設等の全体状況を把握し、更新・統廃合・長寿命化などを検討する。H28年度に策定した公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設ごとの個別状況を把握し、更新・統廃合・長寿命化などを検討する。	公共施設個別施設計画の策定	0施設	90施設	財政課
		追加 河川の維持・補修	河川の維持・補修を行い災害からの安全確保を図る。	浸透延長(年間)	1,159m	1,500m	建設課